

初年次教育「専門基礎研究」の授業風景

日大商学部の特徴でもある“初年次教育”を特集します！

2014年5月22日実施

1年生対象の必修科目「専門基礎研究」において、情報教育センターを利用した、図書館ガイダンスが実施されました。

初年次教育の中核科目「専門基礎研究」とは？

日大商学部に入学した1年生の必修科目です。クラス担任が受け持つ個別クラスでは、レポート作成の初歩的スキルを学びます。学科単位で行う合同クラスでは、キャリアデザイン、世界経済に関する基礎的認識、日本の近代化と学祖山田顕義について学びます。

「図書館ガイダンス」を実施！

5月22日（木）、会計学科の1年生を対象に、授業時に必要な参考文献となる図書の検索方法や自分の興味のある文献の検索方法など身近なものを例として、図書館を熟知した職員が説明しました。

大学での授業では、特に図書館の利用が不可欠です。昨今、インターネットが主流となり、“活字を読む”ことを避ける学生が増えているのも現実です。

日大商学部では、日本大学の理念『自主創造』の精神のもと、ぜひとも図書館を有効活用して欲しいとの強い思いからこのような機会を授業として取り入れています。



図書館職員によるガイダンス風景



みなさん真剣な眼差しで取り組んでいます。



授業振り返りのための教材 e-learning「G l e x a」

「初年次教育」とは？

教員との交流を通じて、高校生から大学生への意識転換をし、大学生としての自覚をもって（自ら考え、自ら行動する自主性と積極性をもつこと）、大学での学修に必要な様々なスキル（商学や経営学などの専門科目の全体像の理解、情報処理や通信技術の習得）を身に付けることを目的としたプロジェクトです。

次回は、合同クラスにおいて実施予定の「自校教育」について特集します！